



## 見積依頼書 EMC 試験 [記入例]

### 1. はじめに

本シートは、EMC 試験の見積依頼書となります。各種資料につきまして、和文または英文でご提示ください。見積はご提示いただきました情報に基づき作成されます。適切な情報をご提示いただけない、ご依頼時点で未定の部分がある場合などには概算でのお見積りとなり、金額や試験期間に大きな差異が生じることもございます。

### 2. 本依頼書のご記入について

本見積依頼書はフリーフォーマットとなります。必要であれば記入枠の大きさを調整、あるいはコピーいただいても結構です。本依頼書に記入しきれない場合、追加資料を別に添付いただけますよう、お願いいたします。英文レポートが必要な場合は、できる限り英文でのご記入をお願い致します。

### 3. 見積金額とご請求金額の差異について

ご請求金額は、作業実績に基づくものになります。見積金額との間に差異が生じた場合、見積書の追加発行や改訂は、実施いたしません。どうしても必要な場合は、担当営業までご相談ください。

### 4. 試験日程について

試験日程につきましてご要望がある場合、お見積とともにご提示いたします。  
※設備予約の確定ではございませんので、他の予約が決定した場合は別日程に再調整されます。

試験開始以降において、作業時間の増加が見込まれる場合、日程は都度ご提示になります。  
試験開始以降の日程変更は試験所の稼働に基づきますので、最終見積時点でご提示した日程の確約はいたしかねます。

最終お見積のご提示以降、試験結果によっては作業時間が増加する可能性が予測でき、さらなる設備確保を事前にご要望の場合、担当営業までご相談ください。  
追加での設備確保後、試験完了までに確保分をご使用いただけなかった場合、時間に応じたキャンセル料が発生いたします。

### 5. 試験レポートの納品について

試験レポートの納品について全て電子データ(PDF ファイル)を原本としてご提出させて頂いております。  
詳細は担当営業までお問い合わせください。

### 6. 試験サンプル送付先について

機材をお送り頂く際は、事前にご連絡の上、下記宛先に試験予定日の2営業日前着を目処にお送りいただきますようお願いいたします。

※休日の荷物受け取り、搬入対応はお受けできませんのでご了承ください。

※重量物の場合はフォークリフトの貸し出しをしております。弊社社員によるフォークリフトでの荷下ろし等はいたしかねますので、フォークリフト運転者はお客様にてご手配ください。

使用の際は「同意書」の提出が必要となりますので、担当営業までお問い合わせください。

※試験所に機材を送付頂く前に、必ず機材(EUT)が EMC 試験時の意図した動作を行っていることをご確認お願いいたします。

<送付先>

〒992-1128

山形県米沢市八幡原 5-4149-7

テュフズードジャパン株式会社 米沢試験所

技術サービス本部 EMC ラボ 山岸宛

TEL:0238-28-2881



## 7. 米沢試験所のご利用について

### 1) 安全靴(上履き)

受付ロビーより入室する際、スリッパに履き替えをお願いします。各種サイズをご準備しております。  
試験時内で重量物を持ち上げることがある場合、地下ピットの利用を予定されている場合は安全のため安全靴など上履きをご用意ください。  
※安全靴は貸し出し可能ですが、サイズと数に限りがあるため持参頂くことを推奨しています。

◇以下の、緑字時の記入例は AC サーボドライバー (モータの駆動ユニット)の機能安全認証の為に EMC テストを想定して記入しています。 予めご了承ください。

## 8. お申込者

### お申込者(お問合せ先)

御社名	上杉工業株式会社
部署名	ドライバー開発部サーボ開発 1 課
ご担当者	直江兼統
電話番号	0238-22-xxxx
E-mail	Naoe kanetsugu1@uesugi-indus.co.jp
所在地	〒992-0052 山形県米沢市丸の内1丁目4-13

御見積書の宛先(宛名) (上記お申込者と異なる場合以下を御記入ください)

御社名	
部署名	
ご担当者	
電話番号	
E-mail	
所在地	〒



9. このシートで希望されるアウトプット (複数回答可能です)

No.	希望アウトプット	ご希望納期	備考
1	<input checked="" type="checkbox"/> EMC テスト概算見積額		EMC テストに関わる概算見積額をメールにて連絡致します。
2	<input type="checkbox"/> EMC テスト日程調整		米沢試験所 EMC テスト日程調整を希望される場合は下記情報提供をお願いします。 (1) EMC テストサンプル類試験所到着予定: 202 年 月 日 (2) ご利用形態 ( <input type="checkbox"/> 夜勤枠テスト可 <input type="checkbox"/> 休日、土日テスト可 <input type="checkbox"/> 不連続日テスト可 <input type="checkbox"/> 残業対応可) ※日勤 1 枠は定時 7 時間+残業、夜勤 1 枠は定時 7 時間 ※半日 1 枠は定時 3 時間 (3) <input type="checkbox"/> 立会試験 <input type="checkbox"/> リモート立ち合い試験 <input type="checkbox"/> 依頼試験
3	<input type="checkbox"/> EMC テスト正式見積		見積書の宛名が 8. お申込者と異なる場合は見積書の宛先情報の提供をお願いします。 ※機能安全 EMC テストの見積りにつきましては、別紙のテスト情報シートのご提出も必要となります。
4	<input type="checkbox"/> EMC テストレポート (EMC テスト含む)		テストレポートの申請者と住所が 8. お申込者と異なる場合はテストレポートの申請者と住所 (英文レポートを希望の場合は英語情報) の提供をお願いします。 レポート希望納期: 202 年 月 日
5	<input type="checkbox"/> EMC テストレポート (EMC テスト含まず)		テストレポートの改定 (追加テストが不要な規格更新などの) 発行など レポート希望納期: 202 年 月 日
6	<input checked="" type="checkbox"/> EMC ミーティング		EMC テストに関する相談 (料金が発生することがあります) ご相談の概要を御記入ください。別途ご提示いただいても結構です。 1) EMC テストに関わる事前の準備作業概要と手順について 2) EMC テスト規格について 3) EMC テストが必要なポイントとテスト内容について 4) EMC テストレポート発行までの作業/イベントのスケジュールについて <input checked="" type="checkbox"/> Web (Teams) ミーティング可 <input type="checkbox"/> 対面ミーティングを希望 ( <input type="checkbox"/> TUV 指定の事業所可) ※お客様の事業所での打合せをご希望の場合は住所を記載をお願いします (住所: )
7	<input type="checkbox"/> EMC テストプランの作成支援		該当する項目にチェックをお願い致します。 <input type="checkbox"/> お客様が作成された EMC テストプランについて事前の内容確認 <input type="checkbox"/> テストプランの体裁にまとめるためのご支援 (試験に必要な情報をご提示いただく必要があります) 打ち合わせをご希望の場合上記「6 EMC ミーティング」にご記入ください。
8	<input type="checkbox"/> (その他)		

**コメントの追加 [TA1]:** 概算見積に対して発注はできません。正式ご依頼は見積書の発行が必要となります。概算見積額をご確認頂き見積書の発行が必要な場合はご連絡をお願い致します。

**コメントの追加 [TA2]:** 余白にご希望の候補日を複数記載頂けましたら、見積と並行してテクニカルミーティング日時の調整を進めます

**コメントの追加 [TA3]:** ご相談内容により、無償の打合せまたは有償の打合せを検討致します。有償の打合せを提案する際は先に見積手続きを進めます。また、事前にご相談内容をご連絡いただけますと事前検討を行うことができますので助かります。

**コメントの追加 [TA4]:** 機能安全 EMC と医療機器 EMC に限り提供していますこのサービスでは、テストプランの体裁にまとめたものを参照頂き、お客様にて EMC テストプランを完成頂く必要があります。(完成版テストプランを当方で作成を行うサービスではございませんのでお間違いのないようご留意願います。



## 10. 試験情報

No.	項目	内容 (複数回答可)
1	試験目的	<p><input type="checkbox"/> 新規試験</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 差分・追加試験 (一部テストについてはオリジナルテスト結果を適合性立証に使用して再テスト省略)</p> <p>※「差分・追加試験」の場合、ベースとなるモデルについて、下記の通り参考レポート情報をお知らせください。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 弊試験所発行のレポート番号: JPX-TR-22999-2</p> <p><input type="checkbox"/> 他試験所発行のレポートを別途提出</p> <p>※次ページ 11.項以降は 弊試験所にて発行された、参考となるテストレポートをご提示いただいた場合、 今回のお申込みにて実施する機種との差異のみをご記入いただいても結構です。 (全ての項目を記載頂く必要はありません)</p> <p><input type="checkbox"/> 事前試験 (本試験前の実力確認、対策検討)</p> <p><input type="checkbox"/> 適合立証試験 (FCC、VCCI、EMC 指令自己立証、KC-EMC)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 製品認証の為の試験 (TUV SUD の <input type="checkbox"/> EMC 指令認証、<input checked="" type="checkbox"/> 機能安全認証)</p> <p><input type="checkbox"/> 医療機器試験</p> <p><input type="checkbox"/> 北米向け医療機器の ASCA 認証の為の試験</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ( )</p>
2	テストプラン	<p>お見積の御依頼時点でテストプランご提示(ドラフト版等でも結構です)の可否</p> <p><input type="checkbox"/> 見積依頼書とともに、あるいは別途提示</p> <p>※テストプランご提示いただける場合、次ページ 11.項以降は テストプランに記載がない項目のみご記入で結構です。(全ての項目を記載頂く必要はありません)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 提示は予定していない</p>

**コメントの追加 [TA5]:** 新規試験は試験対象品に関して試験規格で定められている EMC 試験を全て実施するケースを想定しています。

**コメントの追加 [TA6]:** 差分・追加試験はオリジナルの EMC 試験結果を利用して一部試験を省略されるケースを想定しています。  
実施を予定されている試験項目につきましては、13. 試験の条件に記入をお願いします。

**コメントの追加 [TA7]:** 事前試験は本試験で合格する可能性を高めるために、お客様(製造者)が必要と判断された時にご依頼頂いています。どのテストにおいてお客様が不安であるか当方では把握することができません。この為、事前試験をご希望の場合は具体的な事前試験内容または事前試験日数をご連絡お願い申し上げます。

**コメントの追加 [TA8]:** 製品認証の為の試験につきましては、試験前に試験内容に関して認証部門との事前調整が必要となることがあります。

**コメントの追加 [TA9]:** EMC テストの見積依頼時点で EMC テストプランをご提示頂きますと、お客様が想定されていますテスト内容を把握しやすくなり、大変助かります。また、お客様は 11 項以降のテストプランに記載頂いている情報につきましてはテストプラン参照にチェック頂くことにより記入作業が見積依頼書の記入作業が大幅な減少が期待できます。



### 11. 試験対象物の情報

下表記入情報について、該当するものに☑をお願いします。

- オリジナルのテストレポートと全く同じ内容です (オリジナルテストレポートを参照)
- オリジナルのテストレポートと異なる情報のみ記入 (オリジナルテストレポートと同じ内容は記入していません)
- テストプランに従います
- EUT(試験対象物)に関する情報を(可能な限り)全て記入

No.	項目	内容
1	品名	AC servo driver ※試験対象品の品名(印刷機、カメラなど)
2	モデル名	AX-1-P5
3	機器概要	産業用ロボットシステムに組み込みを想定している機能安全モータードライバー  ※使用目的(家庭用プリンタ、内視鏡カメラなど)、使用場所(工場、一般家庭など)カタログ、仕様書などを別途ご提示いただいても結構です。
4	試験装置の状態	<input type="checkbox"/> 量産 ( Production ) <input checked="" type="checkbox"/> 量産試作 ( Pre-production ) <input type="checkbox"/> 試作 ( Prototype ) <input type="checkbox"/> その他 ( )
5	ファミリーモデル	フィールドバス通信ポート非搭載モデル AX-1-P4 ※モデル一覧表を別途ご提示いただいても結構です。
6	試験モデルの選定	EUTのAX-1-P5はフィールドバス通信ポート非搭載モデル AX-1-P4と比べフィールドバス通信回路が含まれるため EMC に影響する回路構成が大きくなる。またイミュニティテスト対象となる通信ポートが搭載されている為、EMC 的にテスト条件が厳しいと推定される。  ※ファミリーモデルがある場合のみご記入ください。 ※ファミリーモデルがある場合、なぜこの機種を選定したかご記入をお願いいたします。 例: 全ての機能が搭載されているモデルのため
7	仕向地	欧州  ※仕向地について国名をご記入ください。EU 加盟国は「EU」でも結構です。
8	電源仕様	<input type="checkbox"/> 単相/ <input checked="" type="checkbox"/> 三相 ( <input type="checkbox"/> 三線式 <input checked="" type="checkbox"/> 四線式 ), <input checked="" type="checkbox"/> AC 200-240 / <input type="checkbox"/> DC V、 <input checked="" type="checkbox"/> 50Hz/ <input checked="" type="checkbox"/> 60Hz, 10 A 電源の保護接地: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 機能アース線: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし  ※AC / DC、電圧(範囲)、周波数(範囲)、単相/三相、三相の場合線数(三線式、四線式)、消費電流をご記入ください。 例: <input checked="" type="checkbox"/> 単相/ <input type="checkbox"/> 三相, <input checked="" type="checkbox"/> AC / <input type="checkbox"/> DC 100-240 V、 <input checked="" type="checkbox"/> 50Hz/ <input type="checkbox"/> 60Hz, 8A 例: <input type="checkbox"/> 単相/ <input checked="" type="checkbox"/> 三相 ( <input checked="" type="checkbox"/> 三線式 <input type="checkbox"/> 四線式 ), <input checked="" type="checkbox"/> AC / <input type="checkbox"/> DC 200-400 V、 <input checked="" type="checkbox"/> 50Hz/ <input checked="" type="checkbox"/> 60Hz, 25A ※テスト品の電源仕様が異なる場合は全てのテスト品について電源仕様を個別に記載をお願いします。 また、装置情報の EUT1,EUT2 を横にメモ書きをお願いします。
9	大きさ	[EUT 単体] (W) 150 × (D) 100 × (H) 200 (mm) ※大まかな数値でも結構です。複数ユニットからなる場合、各々記入ください。 [EUT、周辺装置含む EMC 試験システム全体] (W) 1500 × (D) 800 × (H) 1200 (mm) ※EMC テストに適したサイズの試験室を調整致します。 ※(W:横) × (D:奥行) × (H:高さ)
10	重量	40 Kg ※大まかな数値でも結構です。複数ユニットからなる場合、各々記入ください。 [EUT、周辺装置含む EMC 試験システム全体] Kg

コメントの追加 [TA10]: 御社独自の製品名ではなく、一般的に使用されている製品名(分類名)を記入下さい

コメントの追加 [TA11]: EUT: EMC 試験において試験対象物 (◆この欄では実際に EMC 試験を行う製品についてのみ記載をお願いします。) また、製品認証の為にテストの場合は製品認証対象品であるまたは製品認証対象品が装置内に含まれていることが容易に確認できるモデル名を記載をお願いします。(製品認証手続きの為に EMC テストレポートを提出した際に EMC テスト対象品の妥当性を確認するため)

コメントの追加 [TA12]: 色違い、サイズ違い、オプション品の違いなどのシリーズモデルのこと 例えば、ハードディスクレコーダーの場合には容量違い 1TB、2TB、4TB など 産業用機器の場合フィールドバスのタイプ違い等

コメントの追加 [TA13]: EMC 試験においては、試験条件が厳しいモデルを代表モデルとして選択して頂き、その代表モデル(EUT)のみ試験を実施することがあります。

コメントの追加 [TA14]: 静電気イミュニティ VCP、放射 (RS)イミュニティテストにおいて試験回数に影響します。

コメントの追加 [TA15]: EMC テストに利用可能な試験室を選定するために必要な情報となります



11	内部動作最高周波数	240 MHz	※発信部品の周波数ではなく、CPU動作周波数や外部 I/F などで使用される最高周波数をご記入ください。
12	無線機能	<input checked="" type="checkbox"/> 無線機能を有しない <input type="checkbox"/> 無線機能を有する	※無線機能を有する場合は、無線機能の情報をご記入ください。別途添付でも結構です。
13	バージョン	ハードウェアバージョン HW010 ファームウェアバージョン FW100 ソフトウェアバージョン SW002	

※「13 バージョン」について

EMC 試験開始時点のものを御記入ください。

ハードウェア、ファームウェア、ソフトウェアのバージョンの違いにより EMC 性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご記入いただいております。

見積りの御依頼時点で決定していない場合、その旨ご記入ください。

**コメントの追加 [TA16]:** 内部動作最高周波数は、最も高い周波数のこと

対象装置の内部回路の他に、USB や Ethernet 等の外部インターフェースで使用される信号の周波数や、搭載している無線モジュールで使用される周波数の中で、最も高い周波数のことを指します。内部動作最高周波数によって、放射エミッションの測定周波数範囲が変わります。

**コメントの追加 [TA17]:** (参考)ハードウェアバージョン、ファームウェアバージョンの、ソフトウェアバージョンの一つの考え方

1. ハードウェアバージョン

意味: 機器や部品の設計や製造の世代を示す番号。

例: 製品全体の構造を管理されている管理番号、基板のレビジョン (Rev 1.0、Rev 2.0 など)、CPU の世代。

ポイント: ハードウェアの形状や回路が変わると EMC テスト結果に影響することがあります。

2. ファームウェアバージョン

意味: ハードウェアを制御するために組み込まれたソフトウェアのバージョン。

例: プリンターやルーターの内部プログラム。

ポイント: ハードウェアに密着して動作するため、更新で機能改善やバグ修正が行われます。

例えばファームウェアによりセンサー入力の異常を判定している場合正常と異常の閾値を変更されると EMC テスト結果に影響することがあります。

3. ソフトウェアバージョン

意味: ユーザーが操作するアプリケーションや OS などのプログラムのバージョン。

例: Windows 11、Office 365、CAD ソフトなど。

ポイント: 機能追加や UI 変更が頻繁に行われる領域。

例えばソフトウェアによりセンサー入力の異常を判定している場合正常と異常の閾値を変更されると EMC テスト結果に影響することがあります。

また、例えば機能安全認証ではハードウェアバージョンとソフトウェアバージョンは EMC テストレポートに記載することが求められているなど製品認証においてバージョン情報が必須となることがあります。



## 12. 試験構成の情報

下表記入情報について、該当するものに☑をお願いします。

- オリジナルのテストレポートと全く同じ内容です (オリジナルテストレポートを参照)
- オリジナルのテストレポートと異なる情報のみ記入 (オリジナルテストレポートと同じ内容は記入していません)
- テストプランに従います
- EUT(試験対象物)に関する情報を(可能な限り)全て記入

### 各機器間において、試験時にどのようにケーブルが接続されるのかをご提示ください。 ご提示いただけない場合、お見積ができません。

以下の要素が含まれている資料を別途ご提示いただけるのであれば、試験構成図のご提示は不要です。

- ① メンテナンス時のみケーブルが接続されるポートについては試験対象外として扱えますので、メンテナンス時のみ使用である旨、明示ください。
- ② 試験対象品と周辺機器(試験対象外)が判るように記載してください。
- ③ 試験の動作モードごとに構成、周辺機器などが変わるのであれば、試験対象となるすべての条件にてご記入ください。
- ④ 書式につきましては、特に規定はありません。お客様の書式、手書きでも問題ありません。
- ⑤ 装置情報、周辺機器情報、ケーブル情報の番号を合わせてご記入ください。

※記述方法に関しては、最終ページの「試験構成図サンプル」を参照願います。

#### 装置情報

	品名	製造者	型式	特記事項
EUT1	AC servo driver	Uesugi Technology	AX-1-P5	
EUT2				
EUT3				
EUT4				

#### 周辺機器情報

	品名	製造者	型式	特記事項
AE1	Motor	Uesugi Technology	MM-0587	
AE2	Safety PLC	BBB Inc	PLC0000	
AE3	Computer	CCC Co.	PC1111	
AE4	AC/DC power unit	DDD Co	DCP2222	
AE5	Metal Cabinet	ABC	MC001	

コメントの追加 [TA18]: 周辺機器(AE): 周辺装置 EUT を動作させるための治具等、EUTと一緒に試験を行っても AEはその試験結果(テストレポート)にて規格に適合していることを示すことはできません

コメントの追加 [TA19]: EMC テストの再現性向上のため、周辺装置の型式もできるだけ記載をお願いします。

#### ケーブル情報

No.	ケーブル名称	サポート長	シールド有無	特記事項
1	AC power	N.A.	No	
2	Motor power	10	No	
3	Encoder	10	Yes	両端シールド
4	Safety input	50	No	
5	Ether CAT	100	Yes	両端シールド
6	Functional earth	3	No.	
7	DC power			
8	AC power			
9	AC power			
j				

コメントの追加 [TA20]: 機能安全認証の為の機能安全 EMC テストにおいては、機能安全テスト情報シートの 6. Table of Ports (Cable list) に記載をお願いします。

コメントの追加 [TA21]: Functional earth (機能アース)ポートは一部試験規格でテスト要求があります。なお、protective earth (感電保護アース)とは異なりますのでご留意ください



※サポート長は、EUT のポートに対してサポートする長さ(最大長、制限ない場合は「制限なし、N/A」等)をご記入願います。

※屋外に直結されるポートの場合、その旨特記事項の欄にご記入ください。

※EUT の Accessory や Option 品は特記事項にご記入願います。

Accessory: EUT の同梱品、添付品になります。

Option: EUT に対して、ユーザーが選択して取り付けるパーツや付属品になります。(別売品)

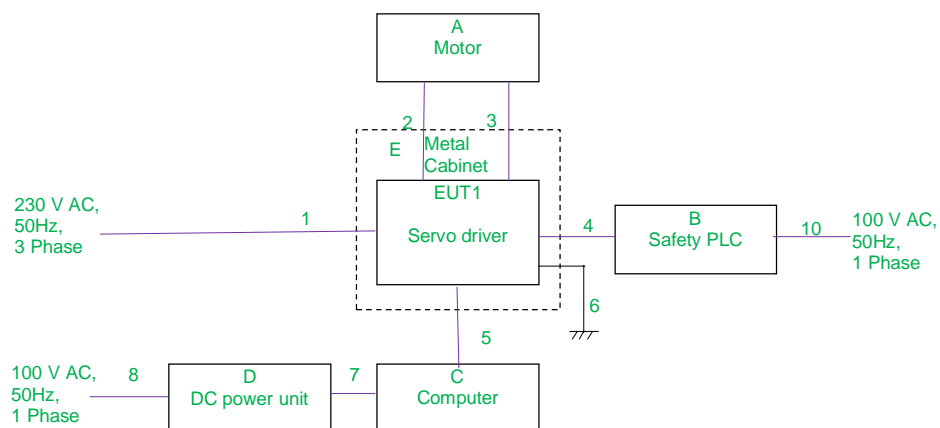
#### 構成図

構成図について、該当するものに☑願います。

オリジナルのテストレポートと全く同じ内容です (オリジナルテストレポートを参照)

テストプランを参照ください

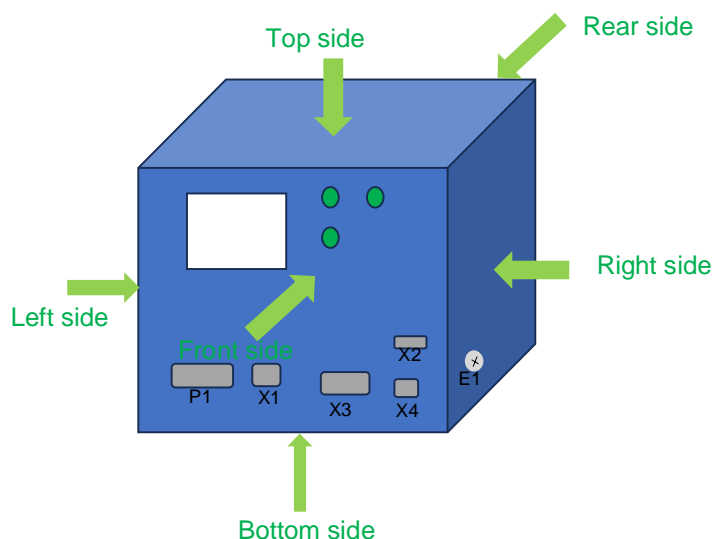
EUT(試験対象物)に関する情報を(可能な限り)全て記入





外観写真/外観図 (製品の外部電気コネクタ(EUT ポート)が写っている写真)  
外観写真/外観図について、該当するものに☑をお願いします。  
 オリジナルのテストレポートと全く同じ内容です (オリジナルテストレポートを参照)  
 テストプランを参照ください  
 今回の試験対象品の外観写真/外観図です。

1) EUT の配置条件(面)の特定情報  
ESD の印加面、RS の照射面を特定するために、EUT 正面(Front)、左面(Left)および底面(Bottom)等定義をお願いします。  
図や写真等で図示してください。



2) コネクタと EUT ポートの関連付けをお願いします。

	EUT ポート	コネクタ記号
1	AC power	P1
2	Motor power	X1
3	Encoder	X2
4	Safety input	X3
5	Ether CAT	X4
6	Functional earth	E1

コメントの追加 [TA22]: 試験対象品(EUT)のコネクタに識別記号が表示されている場合は、EUT ポートとコネクタ記号を関連付けして頂けますと、試験時に試験対象ポートを把握しやすく助かります。

また、機能アース線を EUT の筐体に留めるねじがありましたら記載をお願いします。



### 13. 試験の条件

下表記入情報について、該当するものに☑をお願いします。

- オリジナルのテストレポートと全く同じ内容です (オリジナルテストレポートを参照)
- テストプランに従います
- EUT(試験対象物)に関する情報を(可能な限り)全て記入

No.	項目	内容
1	適用規格	<p>規格記号(番号):版(発行年、修正版) ※版が異なりますとテスト要求が変わることがあります。 可能な限り版まで指定をお願いします。</p> <p><b>【EMI】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> VCCI-CISPR 32:2016</li><li><input type="checkbox"/> FCC part 15 Subpart B</li><li><input type="checkbox"/> EN55011 [<input type="checkbox"/>:2016/A1:2017,A11:2020 (EMC 指令整合規格) <input type="checkbox"/> EN IEC 55011:2025 (最新版)*]</li><li><input type="checkbox"/> EN55014-1 [<input type="checkbox"/>:2017/A11:2020 (EMC 指令整合規格) <input type="checkbox"/> EN IEC 55014-1:2021 (最新版)]</li><li><input type="checkbox"/> EN55032 [<input type="checkbox"/>: 2015/A11:2020 (EMC 指令整合規格) <input type="checkbox"/>: 2015/A1:2020,A11:2020 (最新版)]</li><li><input type="checkbox"/> EN61326-1 [<input type="checkbox"/>: 2013(EMC 指令整合規格) <input type="checkbox"/> EN IEC 61326-1:2021(最新版)]</li><li><input checked="" type="checkbox"/> EN61800-3 [<input type="checkbox"/>:2004/A1:2012(EMC 指令整合規格) <input checked="" type="checkbox"/> EN IEC 61800-3:2023(最新版)]</li><li><input type="checkbox"/> IEC/EN61000-6-3 [<input type="checkbox"/>:2007/A1:2011(EMC 指令整合規格) <input type="checkbox"/> EN IEC 61000-6-3:2021 (最新版)]</li><li><input type="checkbox"/> IEC/EN61000-6-4 [<input type="checkbox"/>:2007/A1:2011(EMC 指令整合規格) <input type="checkbox"/> EN IEC 61000-6-4:2019 (最新版)]</li><li><input type="checkbox"/> その他 (規格名および、年号または版: )</li><li><input type="checkbox"/> 試験所との打ち合わせ希望 (料金が発生する場合がございます)</li></ul> <p>*: A2LA の未登録規格の為、テストレポートに ilac-MRA A2LA マークは表示できません。</p> <p><b>【高調波・フリッカ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> IEC/EN61000-3-2 [<input type="checkbox"/>:2014 (EMC 指令整合規格) <input type="checkbox"/> EN IEC 61000-3-2:2019/A1:2021, A2:2024 (最新版)]</li><li><input type="checkbox"/> IEC/EN61000-3-12 [<input type="checkbox"/>:2011 (EMC 指令整合規格)* <input type="checkbox"/>:2011/A1:2024 (最新版)]</li><li><input type="checkbox"/> IEC/EN61000-3-3 [<input type="checkbox"/>:2013 (EMC 指令整合規格) <input type="checkbox"/>:2013/A1:2019,A2:2021(最新版)]</li><li><input type="checkbox"/> IEC/EN61000-3-11 [<input type="checkbox"/>:2000 (EMC 指令整合規格) <input type="checkbox"/> EN IEC 61000-3-11:2019(最新版)*]</li><li><input type="checkbox"/> その他 (規格名および、年号または版: )</li><li><input type="checkbox"/> 試験所との打ち合わせ希望 (料金が発生する場合がございます)</li></ul> <p>*: A2LA の未登録規格の為、テストレポートに ilac-MRA A2LA マークは表示できません。</p> <p><b>【EMS】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> EN55014-2 [<input type="checkbox"/>:1997/A1:2001, A2:2008 (EMC 指令整合規格) <input type="checkbox"/> EN IEC 55014-2:2021(最新版)]</li><li><input type="checkbox"/> EN55035 [<input type="checkbox"/>:2017/A11:2020 (EMC 指令整合規格)]</li><li><input type="checkbox"/> EN61326-1 [<input type="checkbox"/>:2013(EMC 指令整合規格) <input type="checkbox"/> EN IEC 61326-1:2021(最新版)]</li><li><input checked="" type="checkbox"/> EN61800-3 [<input type="checkbox"/>:2004/A1:2012(EMC 指令整合規格) <input checked="" type="checkbox"/> EN IEC 61800-3:2023(最新版)]</li><li><input type="checkbox"/> IEC/EN61000-6-1 [<input type="checkbox"/>:2007 (EMC 指令整合規格) <input type="checkbox"/> EN IEC 61000-6-1:2019 (最新版)]</li><li><input type="checkbox"/> IEC/EN61000-6-2 [<input checked="" type="checkbox"/>:2005 (EMC 指令整合規格) <input checked="" type="checkbox"/> EN IEC 61000-6-2:2019 (最新版)]</li><li><input type="checkbox"/> その他 (規格名および、年号または版: )</li><li><input type="checkbox"/> 試験所との打ち合わせ希望 (料金が発生する場合がございます)</li></ul>



【機能安全(FS)-EMC】

- IEC/EN 61000-6-7:2015 (SIL: 2, 3)
- IEC/EN 61326-3-1:2017 (SIL: 2, 3)
- IEC/EN 61800-5-2:2017 (SIL: 2, 3)
- IEC/EN 61131-6:2012
- IEC/EN 61496-1:2020 (ESPE Type:  1, 2, 3, 4)
- IEC/EN 60335-1 [  : EN 60335-1:2012/A1:2019,A2:2019  : EN IEC 60335-1:2023 (最新版) ]
- その他 (規格名および、年号または版: )

【医療機器 EMC】

- IEC/EN 60601-1-2:2014 +A1:2020
- IEC/EN 61326-2-6:2020
- JIS T 0601-1-2: 2023
- その他 (規格名および、年号または版: )

※年号または版もご記入ください。不明な場合は、お問い合わせください。  
※特に年号の指定が無い場合は、お打ち合わせにて整合とさせていただきます。  
※EMC 指令の整合規格に適合することで EMC 指令の必須要求事項に適合していることを示すことができます。最新版規格を利用した場合、数年後現在の整合規格から最新版規格に移行した際に規格更新テストを省略できることがあります。

◇ 国際規格 IEC(CISPR)/欧州規格 EN 規格について

- IEC (CISPR), ISO:国際規格を利用する
- EN: 欧州規格を利用する
- IEC (CISPR), ISO と EN 規格とも利用する

※同じ国際規格ベースの欧州規格の場合は IEC (CISPR), ISO と EN 規格とも利用頂いてもテストボリュームはどちらかを利用される場合と同じとなります。テストレポート料金も IEC (CISPR), ISO と EN 規格併記の場合作成料はアップしません。



2	エミッション試験項目	<p><input checked="" type="checkbox"/> No.1 の適用規格で要求されている条件のとおり実施</p> <p>特に実施するテスト項目について指定のある場合、下記をチェックしてください。</p> <p><input type="checkbox"/> 放射エミッション(<input type="checkbox"/> 0.09-30MHz <input type="checkbox"/> 0.15-30MHz <input type="checkbox"/> 30-1000MHz <input type="checkbox"/> 1GHz 以上)</p> <p><input type="checkbox"/> 伝導(<input type="checkbox"/> 電源 <input type="checkbox"/> 通信)</p> <p><input type="checkbox"/> 高調波 (IEC/EN 61000-3-2/61000-3-11)</p> <p><input type="checkbox"/> フリッカ (IEC/EN 610000-3-3/610000-3-12)</p> <p><input type="checkbox"/> その他( )</p> <p>※複数モデルの EMC テストを予定されており、テスト品によりテスト項目が異なる場合は装置情報の EUT1,EUT2 をテスト項目の横にメモ書きをお願いします。 全体的なテスト項目を把握してテスト時間の見積を行うため、ご協力お願い致します。</p> <p>※規格で要求されているテストを省略(実施しない)場合は、省略理由を提示をお願いします。</p>
3	イミュニティ試験項目	<p><input type="checkbox"/> No.1 の適用規格で要求されているテスト項目通りに実施</p> <p>特に実施するテスト項目について指定のある場合、下記をチェックしてください。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 静電気放電 (IEC/EN 61000-4-2)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 放射電磁界 (IEC/EN 61000-4-3)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> パースト (IEC/EN 61000-4-4)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> サージ (IEC/EN 61000-4-5)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 無線周波数伝導性 (IEC/EN 61000-4-6)</p> <p><input type="checkbox"/> 電源周波数磁界 (IEC/EN 61000-4-8) <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">省略します</span></p> <p><input type="checkbox"/> 電源電圧ディップ、瞬停 (IEC/EN 61000-4-11) <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">省略します</span></p> <p><input type="checkbox"/> 近接磁界 (IEC/EN 61000-4-39)</p> <p><input type="checkbox"/> その他( )</p> <p>※複数モデルの EMC テストを予定されており、テスト品によりテスト項目が異なる場合は装置情報の EUT1,EUT2 をテスト項目の横にメモ書きをお願いします。 全体的なテスト項目を把握してテスト時間の見積を行うため、ご協力お願い致します。</p> <p>※規格で要求されているテストを省略(実施しない)場合は、省略理由を提示をお願いします。</p>
4	エミッション試験クラス	<p><input type="checkbox"/> Class A <input type="checkbox"/> Class B</p> <p><input type="checkbox"/> Group1 <input type="checkbox"/> Group2 (CISPR11 を適用する際に御記入をお願いします)</p> <p><input type="checkbox"/> C1 <input type="checkbox"/> C2 <input checked="" type="checkbox"/> C3 <input type="checkbox"/> C4 (IEC/EN 61800-3 を適用する際に御記入をお願いします)</p> <p><input type="checkbox"/> その他( )</p>
5	イミュニティ試験クラス	<p><input type="checkbox"/> 基本的環境(住宅環境など) <input checked="" type="checkbox"/> 工業環境(工業環境など)</p> <p><input type="checkbox"/> ホームヘルスケア環境 <input type="checkbox"/> プロフェッショナルヘルスケア施設環境</p> <p><input type="checkbox"/> その他( )</p>
6	試験時に適用する電源条件 (周辺装置含む)	<p>【EUT】</p> <p><input type="checkbox"/> 単相/<input checked="" type="checkbox"/> 三相, <input checked="" type="checkbox"/> AC 230 / <input type="checkbox"/> DC V、<input checked="" type="checkbox"/> 50Hz/ <input type="checkbox"/> 60Hz :EUT1</p> <p><input type="checkbox"/> 単相/<input type="checkbox"/> 三相, <input type="checkbox"/> AC / <input type="checkbox"/> DC V、<input type="checkbox"/> 50Hz/ <input type="checkbox"/> 60Hz :EUT</p> <p><input type="checkbox"/> 単相/<input type="checkbox"/> 三相, <input type="checkbox"/> AC / <input type="checkbox"/> DC V、<input type="checkbox"/> 50Hz/ <input type="checkbox"/> 60Hz :EUT</p> <p>【AE】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 単相/<input type="checkbox"/> 三相, <input checked="" type="checkbox"/> AC 100 / <input type="checkbox"/> DC V、<input checked="" type="checkbox"/> 50Hz/ <input type="checkbox"/> 60Hz AE B 用*</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 単相/<input type="checkbox"/> 三相, <input checked="" type="checkbox"/> AC 100/ <input type="checkbox"/> DC V、<input checked="" type="checkbox"/> 50Hz/ <input type="checkbox"/> 60Hz AE D 用*</p> <p><input type="checkbox"/> 単相/<input type="checkbox"/> 三相, <input type="checkbox"/> AC / <input type="checkbox"/> DC V、<input type="checkbox"/> 50Hz/ <input type="checkbox"/> 60Hz</p> <p>* ※AE B と AE D の AC 電源は同一プラグから分けて接続も可能。</p> <p>※試験時に適用する EUT の電源電圧、周波数をすべてご記入ください。</p> <p>※テスト品の電源仕様が異なる場合は装置情報の EUT1,EUT2 を横にメモ書きをお願いします。</p>
7	試験対象数	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1台</p> <p><input type="checkbox"/> ( )台 : <input type="checkbox"/> 同一モデルを複数台テストする、<input type="checkbox"/> 類似(ファミリー)モデルをテストする</p> <p>※複数モデルにて複数台希望の場合、各々のモデルでのご希望数をご記入ください。</p>

コメントの追加 [TA23]: オリジナルの試験では行われたが今回は実施されない試験については「省略」等コメントして頂きますと助かります。

コメントの追加 [TA24]: メインのテスト時の電源電圧を記載をお願いします。  
定格電源電圧範囲の下限電圧と上限電圧を考慮する必要があるテストは別途テスト条件としてテスト時の電源電圧を設定します。

コメントの追加 [TA25]: AE(周辺装置)に EMC 試験設備から電源供給が必要な場合は、必要な電源仕様を記載をお願いします。もし同一仕様の電源でも独立して供給する必要がある場合は個別に記載をお願いします



8	試験(動作)モード名	名称	試験目的	動作 1 サイクルの時間(秒)
		① Test Program for EMI	<input checked="" type="checkbox"/> EMI, <input type="checkbox"/> EMS, <input type="checkbox"/> FS-EMC	
		② Test Program for EMS	<input type="checkbox"/> EMI, <input checked="" type="checkbox"/> EMS, <input type="checkbox"/> FS-EMC	2 sec
		③ Safety input ON/OFF repeat	<input type="checkbox"/> EMI, <input type="checkbox"/> EMS, <input checked="" type="checkbox"/> FS-EMC	4 sec
		④ Safety input ON (Safety stop)	<input type="checkbox"/> EMI, <input type="checkbox"/> EMS, <input checked="" type="checkbox"/> FS-EMC	0.5 sec
		⑤	<input type="checkbox"/> EMI, <input type="checkbox"/> EMS, <input type="checkbox"/> FS-EMC	
		⑥	<input type="checkbox"/> EMI, <input type="checkbox"/> EMS, <input type="checkbox"/> FS-EMC	
		※見積時点では「Mode A」などでも結構です		
9	試験時の動作フロー	別紙動作タイムチャートを参照ください		
		※例. 1. 電源 ON 2. PC から EUT に印刷データを送信 3. 印刷 4. 2 から 3 を繰り返す		
10	試験時の EUT 配置	<input checked="" type="checkbox"/> 卓上 <input type="checkbox"/> 床置き <input type="checkbox"/> 壁掛け <input type="checkbox"/> 手持ち <input type="checkbox"/> 金属キャビネット内に設置 <input type="checkbox"/> その他( )		
11	連続動作時間およびバッテリー駆動時間	<input checked="" type="checkbox"/> 連続動作(時間制限なし) 連続動作できない場合 <input type="checkbox"/> 短時間動作(バッテリー駆動機器の場合、バッテリー駆動時間の情報が必要です) 短時間連続動作時間: 分 短時間動作の場合、以下の情報をご提示ください。 ・連続動作が可能な時間(試験実施するうえで、連続 15 分以上の継続動作が必要です) ・再動作にかかる時間(暖気、冷却、再動作設定、消耗品の補充などに必要な時間も含む)		
12	セットアップ時間(初期及び試験中)	(1)初期セットアップ: 60 分 (2)試験中構成変更セットアップ: 5 分 ※試験サンプルの開梱から、機器の動作ができるまでの大まかな時間をご記入ください。		
13	起動 / 終了必要時間	(1)電源 OFF 状態から起動時間(電源 OFF 状態から起動→設定→動作): 3 分 (2)停止状態からの再起動時間(停止状態→再起動操作→動作): 1 分 (3)停止/終了時間(動作→終了→電源 OFF): 1 分 ※電源 OFF 状態から起動→設定→動作→終了→電源 OFF までの大まかな時間をご記入ください。		

**コメントの追加 [TA26]:** 試験動作モードとは、試験を実施する時に製品の動作状態  
 例えば、プリンターの場合には①USB 通信による印刷モード、②LAN 通信による印刷モードなど

機能安全認証の為の機能安全 EMC テストにおいては、機能安全テスト情報シートの 4.EUT (被試験対象機)基本情報 26) EMC 試験時の動作状態(モード)に詳細を記載お願いします。  
 また、評価対象の安全機能がイミュニティノイズの影響を受けないことを確認可能な動作モードの検討をお願いします。

**コメントの追加 [TA27]:** EMC テスト中 EUT が繰り返し動作する場合は 1 動作サイクルに要する時間を記載をお願いします。

**コメントの追加 [TA29]:** 機能安全 EMC 試験においては、動作タイムチャートは  
 横軸に経過時間、縦軸に EUT 動作状態、安全機能(安全信号)の状態を記した図(少なくとも 1 動作サイクルは含めてください)

**コメントの追加 [TA28]:** 試験動作モードの動作手順  
 例えば、プリンターの①USB 通信による印刷モードの場合には、  
 1)電源 ON  
 2)PC からプリンターへ USB 通信でデータ転送する  
 3)印刷  
 4)2)~3)の動作を繰り返す

**コメントの追加 [TA30]:** 市場で製品が使用される時は盤に取付が基本の場合、盤または盤を模擬したものを準備されない場合は EMC テストは卓上装置として取り扱います

**コメントの追加 [TA31]:** 試験中に連続動作が可能な時間  
 例えばプリンターの場合には最大連続印刷枚数(500 枚)の動作が開始から完了するまでの時間

**コメントの追加 [TA32]:** 試験所に届いた梱包状態から最初のテストを行うことが可能な状態に EUT をセットアップするに要する時間  
 もし、初期セットアップに 7 時間以上要する場合はセットアップ作業の予約日を設定致します。

**コメントの追加 [TA33]:** テスト項目替えの時の再セットアップやテストポートを替える時に要する時間



14	性能判定基準	製品仕様で規定されている機能について、イミュニティ試験中に観測可能な判定基準を具体的にご記入ください。  <input type="checkbox"/> 過去レポートと同じ (レポート番号: ) <input type="checkbox"/> テストプラン参照
	判定基準 A	EUT keeps the ON-state during safety input is the ON-state. EUT responds by going from the ON-state to the OFF-state when safety input changes from the ON -state to the OFF-state. EUT keeps the OFF-state during safety input is the OFF-state. EUT responds by going from the OFF-state to the ON-state when safety input changes from the OFF -state to the ON-state.  During EMC test and after EMC test; Display/LED lamp : No "Error" indication Operation: Not stop Operation mode: No change of operation mode/status Data: No loss of data Communication with other units: No disturbances in communication  例: 意図された通りに動作し続ける。
	判定基準 B	The apparatus shall continue to operate as intended after the test. No degradation of performance or loss of function is allowed below a performance level specified by the manufacturer, when the apparatus is used as intended. The performance level may be replaced by a permissible loss of performance. During the test, degradation of performance is however allowed. No change of actual operating state or stored data is allowed. If the minimum performance level or the permissible performance loss is not specified by the manufacturer, either of these may be derived from the product description and documentation and what the user may reasonably expect from the apparatus if used as intended.  例: 一時的な性能低下は許容される。試験後は正常動作に自己復帰する。
	判定基準 C	Temporary loss of function is allowed, provided the function is self-recoverable or can be restored by the operation of the controls.  例: 機能損失は許容され、オペレータの介入により正常動作に復帰する。
	判定基準 DS/FS 機能安全	EUT responds by going from the ON-state to the OFF-state when safety input changes from the ON -state to the OFF-state.  EUT keeps the OFF-state during safety input is the OFF-state. There was no loss of safety function and EUT shall not fail to danger.

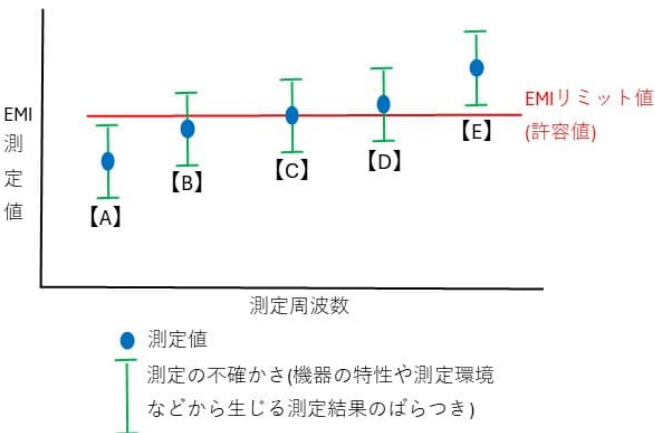
**コメントの追加 [TA34]:** 製品仕様で規定されている機能についてイミュニティ試験中に観測可能な判定基準のこと(製造者が自社製品について定義する基準)  
 例えば、プリンターの場合には  
 ・判定基準 A: 正常に印刷される  
 ・判定基準 B: LED の異常表示するが、試験後に自動復帰する  
 ・判定基準 C: 印刷停止、試験後に電源リセットなどの手動操作による正常動作への復帰



		例: 試験中安全機能は意図した通り動作して、試験中および試験後に安全機能の喪失はない。安全な動作の停止は許容される
	判定基準 医療機器	例: 試験中、機器の基本性能および基礎安全が確保できていること。
15	イミュニティ試験中監視方法	<p>1) EUT のディスプレイの表示            2) モータの回転            3) Safety PLC の表示            4) Computer の表示 (イミュニティテスト終了後データ通信のログを確認ください)</p> <p>例: 目視監視のみ 3か所、試験後にログ確認が必要 など</p>
16	EMS(イミュニティ)試験後の性能判定所要時間	<p><input type="checkbox"/> EMS 試験後の確認なし(試験中に判断/確認できる)            EMS テスト中のみでは可否判定の為に必要な情報が確認できない場合  <input checked="" type="checkbox"/> EMS 試験後確認あり: 試験後の動作確認に要する時間 10 分</p> <p>イミュニティ試験の際に、試験中の監視以外に確認事項が発生する場合、その概要と、必要な時間を記入願います。</p> <p>※試験後、装置のログを取得し、そのログデータに異常が無いか確認する。            ログ取得～異常確認終了まで「0.25h」等</p>
17	限度値あるいは判定基準を超えた場合の対応	<p>エミッション試験(規格値あるいはご指定のマージンを超えた場合)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> お客様にお知らせして、指示頂く(指示あるまで待機、中断)  <input type="checkbox"/> お客様にお知らせして、そのまま試験は継続する  <input type="checkbox"/> その他( )</p>
		<p>イミュニティ試験(ご指定の判定基準を超えた場合、想定された現象以外が発生した場合)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> お客様にお知らせして、指示頂く(指示あるまで待機、中断)  <input type="checkbox"/> お客様にお知らせして、そのまま試験は継続する  <input type="checkbox"/> その他( )</p>
18	EMI(エミッション)試験条件	
	<p>1) マージン値 (製造者様が製品のばらつき等を考慮されて設定される余裕値)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> マージン値設定なし(規定された限度値を適用)</p> <p>下記の通り測定マージンを設定する(ご指定いただいた場合、判定が厳しいものになります)</p> <p><input type="checkbox"/> 伝導エミッション: dB  <input type="checkbox"/> 放射エミッション: dB</p>

コメントの追加 [TA35]: 監視方法とは可否を判断するために確認すべき手段のこと  
 例えば、プリンターの場合には  
 試験中の監視方法: 装置の LED および印刷動作を目視で監視(エラー発生の有無を監視)  
 試験後の判定: 有(印刷物を確認する)  
 試験後の判定所要時間: 0.25h(500 枚の確認に要する時間)



<p>2) 判定ルール</p>	<p>判定ルール (各 EMI テストの測定の不確かさを含む合格判定の進め方) 『測定値が EMI リミット以下の時は合格判定。 EMI リミット値を超えた時は不合格判定』ルールを適用します。</p>  <p>□ 上記判定ルールではなく、下記の測定の不確かさを含む判定ルールを適用します。 (ご記入無い場合、上述の判定ルールを適用いたします)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【A】 (測定値も測定の不確かさの上限もリミット内)</li> <li>【B】 (測定値はリミット内であるが測定の不確かさの上限はリミットを超えている)</li> <li>【C】 (測定値はリミット値であるが測定の不確かさの上限はリミットを超えている)</li> <li>【D】 (測定値はリミットを超えているが測定の不確かさの下限はリミット内)</li> <li>【E】 (測定値も測定の不確かさの下限もリミット値を超えている)</li> </ul> <p>(上図の A, B, C, D, E の測定結果時の合否基準 (合格/不合格) を具体的に記載お願いします)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【A】 : (例: 合格)</li> <li>【B】 : (例: 合格)</li> <li>【C】 : (例: 合格)</li> <li>【D】 : (例: 不合格)</li> <li>【E】 : (例: 不合格)</li> </ul>
<p>3) CMAD</p>	<p>放射エミッションテストに CMAD を使用する/使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 適用規格で必須であれば使用する</li> <li><input type="checkbox"/> 適用規格で任意の場合、使用する</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 適用規格で任意の場合、使用しない</li> <li><input type="checkbox"/> 試験所に一任</li> </ul> <p>CMAD を使用する場合使用するポート/ケーブル記号 :</p>



18	EMS(イミュニティ)試験条件	下記の項目はお客様にて設定頂くイミュニティテスト条件となります。 ※この情報は EMC テスト時間に影響します。
1) 静電気イミュニティ	(1) 試験除外ポイント <input type="checkbox"/> 除外ポイントなし <input checked="" type="checkbox"/> 除外ポイントあり  除外ポイント：キャビネット外から接触可能なコネクタ部と表示部を除くキャビネット内のユーザーが通常使用時に接触できない部分 除外理由：EUT は必ず金属キャビネット内に設置することをマニュアルに記述しているため、通常使用時にキャビネット内の箇所にはエンドユーザーが触れることはないため  ※可能である場合、印加ポイントを明記した図や写真の提出をお願いいたします。 (2) 接触放電/間接放電試験レベル <input type="checkbox"/> 規格の要求に従う <input type="checkbox"/> 下位レベルの試験は実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 下位レベルの試験も実施する	
2) 放射 (RS)、伝導 (CS) イミュニティ	(1) RS/CS 印可時間： OP2:0 秒、OP3:4 秒、OP4: 0.5 秒 ※最低 0.5 秒、印可中に目視確認必要であれば最低 1 秒 ※試験モードにより、印加時間が異なる場合は試験モード毎に全て記載をお願いします。 ※製品動作の 1 サイクル以上の時間かつ、動作異常を判別できる時間が必要です。  ご判断が難しいときは、本表 No.8 欄で示された 1 動作サイクルの時間を適用いたします。 なお、特にご指定がない場合、3 秒でテスト時間を試算いたします。 (2) RS テスト照射面 <input checked="" type="checkbox"/> 装置に決まった底面があるので、装置の 4 サイド面 <input type="checkbox"/> 装置に決まった底面がないので、装置の 6 サイド面 <input type="checkbox"/> 下記指定のサイド面についてテストを行う ( <input type="checkbox"/> 正面、 <input type="checkbox"/> 右面、 <input type="checkbox"/> 左面、 <input type="checkbox"/> 背面、 <input type="checkbox"/> 上面、 <input type="checkbox"/> 底面) ※特にご指定が無い場合は、装置の底面を確認した上で側面 4 サイドまたは上面と底面含む 6 サイドでテスト実施させていただきます。 (テストのお見積りは 6 サイドを想定してテスト時間を試算致します)	
3) バーストイミュニティ	Repetition frequency (繰り返し周波数): <input type="checkbox"/> 規格で明示されている条件のみ適用 お客様にて条件を指定される場合 <input type="checkbox"/> 5 kHz のみ <input type="checkbox"/> 100 kHz のみ <input checked="" type="checkbox"/> 5kHz と 100 kHz 両方 ◇「選択なし」または「規格で明示されている条件のみ適用」のみ選択された場合は、「規格条件通り」または「5kHz のみ」でテスト致します。	
4) サージイミュニティ	(1) 印可間隔: <input type="checkbox"/> 全テストレベル共通: 秒 テストレベル別に指定される場合 <input checked="" type="checkbox"/> ~ 2 kV: 20 秒 <input checked="" type="checkbox"/> ~ 4 kV: 60 秒 <input type="checkbox"/> ~ 6 kV: 秒  ※特にご指定が無い場合は、60 秒で試算/テスト実施させていただきます。 (2) サージ保護部品: <input type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している(定格保護電圧: V)	

コメントの追加 [TA36]: 各テスト周波数において電磁ノイズを印加する時間を記載ください。  
また、動作モードが複数ある場合は個別に記載をお願いします。

コメントの追加 [TA37]: 現行の EMC 規格では多くの規格においては 5kHz のみ、最近の一部の規格においては 5kHz または 100kHz 但し 100kHz の方が現実に近いと記載されています。  
なお、バーストの基本規格 IEC 61000-4-4 の改定作業において 5kHz と 100kHz 両方の条件ともテストを行うことが議論されています。

コメントの追加 [TA38]: 機能安全 EMC テストレベル(4kV) のみ 60 秒として下位の一般 EMC テストレベルは 20 秒などテスト時間を短縮するために設定頂くこともできます。



5)電源周波数磁界イミュニティ	試験周波数: <input type="checkbox"/> 50Hz のみ、 <input type="checkbox"/> 60Hz のみ、 <input type="checkbox"/> 50Hz と 60Hz の両方 ※特にご指定が無い場合は、仕向け地公称周波数または 50Hz と 60Hz の両方で試算/テスト実施させていただきます
6)AC ディップ、瞬停イミュニティ	試験周波数: <input type="checkbox"/> 50Hz のみ、 <input type="checkbox"/> 60Hz のみ、 <input type="checkbox"/> 50Hz と 60Hz の両方 IEC60601-1-2 規格において瞬停適用電圧: <input type="checkbox"/> 上限と下限で実施 <input type="checkbox"/> 上限のみ実施 <input type="checkbox"/> 下限のみ実施 ※特にご指定が無い場合は、仕向け地公称周波数または 50Hz と 60Hz の両方で試算/テスト実施させていただきます
7)近接磁界イミュニティ (医療機器の EMC テストに關係している場合)	<input checked="" type="checkbox"/> 適用しない(以下記入不要です) (1) 印可時間 <input type="checkbox"/> 本表 No.8 欄で指示された 1 サイクルの時間または 2 秒の長いほう <input type="checkbox"/> 秒 (最低 2 秒以上かつ、1 サイクル以上を指示ください) (2) テスト照射面 <input type="checkbox"/> 別途添付の資料にて適用箇所を図示 <input type="checkbox"/> 機器全体(EUT の最長の辺が 80mm を超えない場合のみこの欄をチェック可能です)
19 試験の省略 (機能安全 EMC テストに關係している場合)	<input type="checkbox"/> 該当しない テスト規格で求められているテストを省略される場合 <input checked="" type="checkbox"/> 連続性(放射、伝導)イミュニティテストにおいて機能安全(DS/FS)レベルのテストで EMC レベル(性能基準 A)を満足した場合 下位の EMC レベルの試験は割愛する <input checked="" type="checkbox"/> 過渡性(ESD、Burst、Surge) イミュニティテストにおいて機能安全(DS/FS)レベルのテストで EMC レベル(性能基準 B)を満足した場合 下位の EMC レベルの試験は割愛する <input checked="" type="checkbox"/> Impact Analysis /変更影響度解析書 (No.: M-16583)に基づき、一部の再テスト項目を省略する (省略されるテスト項目: Signal port の Burst、Surge、CS、LCS、電源周波数磁界イミュニティと AC ディップ、瞬停イミュニティ)

コメントの追加 [TA39]: EMC 的に妥当な理由/根拠に基づき一部テストを省略頂き、テスト時間やテスト費用を削減できることがあります。



#### 14. 試験報告書について

1	試験報告書	<p><input checked="" type="checkbox"/> 適合時のみ報告書必要(有料)</p> <p><input type="checkbox"/> 不適合でも報告書必要(有料)</p> <p>報告書の言語</p> <p><input type="checkbox"/> 日本語 (JIS 規格、IEC 規格のみ対応可能)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 英語 (TUV SUD の認証用 EMC テストレポートは英文レポートが必要となります)</p> <p><input type="checkbox"/> その他(報告書についての要望等ございましたらご記入願います)</p> <p>・</p> <p>・</p> <p><input type="checkbox"/> 報告書不要</p> <p>※試験結果はメールにて下記のようにご報告いたします</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・エミッション項目 データシートの送付(弊社ファイル転送サービスのリンク記載)</li><li>・イミュニティ項目 メール本文に箇条書きでのご報告</li></ul> <p>※報告書は弊試験所にて決められた書式での作成となります。 お客様指定の書式、資料添付等にはご対応できません。</p> <p>※不適合で報告書をご希望の場合、適合時と同等の資料、情報をご提示いただく必要があります。</p> <p>※JIS 規格および IEC 規格は和文英文いずれも対応できます。 その他海外規格は英文で作成となります。</p> <p>※機能安全(FS/DS)と一般 EMC のテストレポートは別々の発行となります。</p>
---	-------	---

見積依頼書のご記入、誠にありがとうございました。  
引き続き、お見積作成を進めてまいります。

お見積を作成するための情報が不足している場合、ご連絡をさせて頂く場合がございます。  
併せて、ご対応よろしくお願い致します。



## 試験構成 サンプル

### 装置情報

	品名	製造者	型式	特記事項
EUT1	ノートパソコン	テフズードジャパン(株)	AAAAA	
AE1	AC アダプタ	テフズードジャパン(株)	11111	Accessory

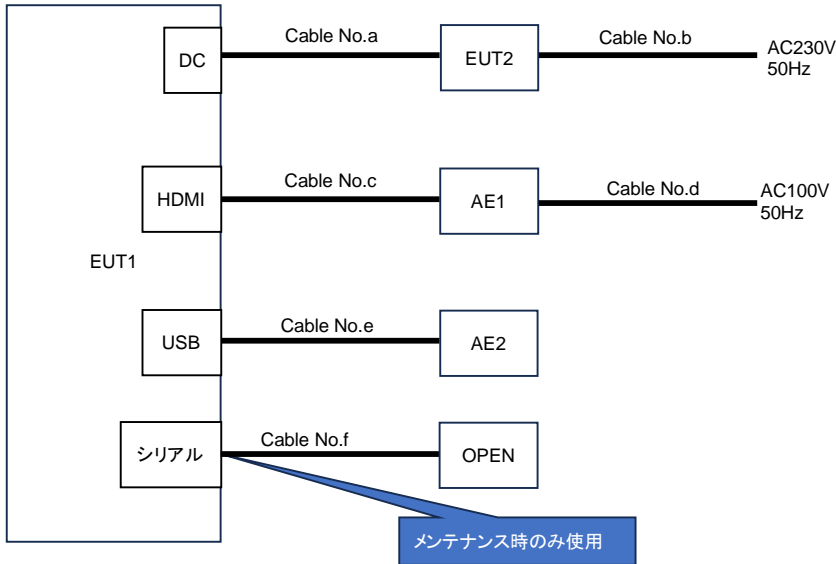
### 周辺機器情報

	品名	製造者	型式	特記事項
AE1	LCD モニタ	テフズードジャパン(株)	ABCDE	
AE2	USB マウス	テフズードジャパン(株)	12345	

### ケーブル情報

No.	ケーブル名称	サポート長	シールド有無	特記事項
a	DC ケーブル	1.0m	無	Accessory
b	AC ケーブル (ノート PC 用)	5.0m	無	Accessory
c	HDMI ケーブル	3.0m	有	Option
d	AC ケーブル (LCD モニタ用)	N/A	無	
e	USB ケーブル (USB マウス)	3.0m	有	
f	シリアルケーブル (メンテナンス用)	N/A	有	メンテナンスポート

### 試験構成図





a) テスト情報シートフォームの改定履歴

Rev. No	改定日	改定内容
1.0	2025/10/24	新規作成
1.1	2025/12/26	11月、12月の見積依頼書の運用実態から把握した問題に対して対処するために改定を行った。

以上